(一)　平成26年9月15日　(昭和二十五年八月十日 第三種郵便物認可)　いさお新聞　毎月十五日発行　(1192)

われわれは遺族の相互扶助、道義の高揚につとめ、平和日本建設に寄与し、戦争の防止、世界恒久平和の確立を期するを信条とする。

いさお新聞

発行所　〒703-8272
岡山市中区奥市3-22　岡山県遺族連盟
電話代表　086-271-7175
ＦＡＸ　086-271-4815
郵便振替岡山01230-9-3532
発行責任者　岸本清美
編集責任者　豊島始男
印刷所　西尾総合印刷株式会社
定価（郵税共）年額1,200円
ホームページ http://izoku-okayama.jp/

平成27年度政府予算概算要求
特別弔慰金の支給事務費計上される

平成27年度遺族処遇改善項目

［平成26年８月29日概算要求］

◎ 恩給法関係

総務省政策統括官（恩給担当）は、恩給を支給するための必要経費として、次のとおり概算要求をした。

◎恩給費　（単位：百万円）

本年度予算額		概算要求額	比較増減
421,690	→	370,010	△ 51,680
		（3,700億1,000万円）	

㈱ 恩給受給者数（26年度）（27年度）（対前年度比）
568千人→ 506千人　△ 62千人

◎厚生労働省関係

（恩給に関連する遺族年金等を除く）

１．戦没者等の遺族に対する特別弔慰金の支給

（支給事務経費／支給対象件数約125万件）

本年度予算額　概算要求額
0万円　→　4億8,400万円

２．戦没者遺骨収集帰還の促進

本年度予算額　概算要求額
14億9,800万円　→　14億7,800万円

（内、硫黄島遺骨収集帰還事業　10億6,000万円）
（内、南方･旧ソ連地域遺骨収集帰還事業　4億1,700万円）

※主な内容

＊遺骨収集帰還等実施地域（13地域）
①フィリピン、②東部ニューギニア、③ビスマーク・ソロモン諸島、④インドネシア、⑤パラオ、⑥沖縄、⑦硫黄島、⑧ハバロフスク、⑨沿海、⑩イルクーツク、⑪アムール、⑫ユダヤ自治州、⑬ブリヤート共和国

※先の大戦における全ての地域で、可能な限り速やかに遺骨を収容できるよう遺骨収集帰還事業の集中的な取組を進めることとしているが、平成27年度の取り扱いについては予算編成過程で検討する。

３．戦没者慰霊事業等

本年度予算額　概算要求額
7億2,100万円　→　8億6,300万円

(1)　慰霊巡拝等

本年度予算額　概算要求額
3億300万円　→　3億1,900万円

＊慰霊巡拝実施地域（12地域）
①フィリピン、②東部ニューギニア、③インドネシア、④パラオ、⑤北ボルネオ、⑥中国、⑦硫黄島、⑧ハバロフスク、⑨沿海、⑩ザバイカル、⑪イルクーツク、⑫ウズベキスタン

＊慰霊碑の補修等（６カ所）
補修調査　①インド、②モンゴル
補修工事　①沖縄、②ラバウル、③ウエワク、④樺太

＊戦没者慰霊碑維持管理（15カ所）

＊遺骨・遺留品伝達

＊戦没者遺骨に係るDNA鑑定

(2)　戦没者遺児による慰霊友好新善事業

本年度予算額　概算要求額
2億8,300万円　→　3億9,000万円

（内　訳）
広域地域　14地域　→　12地域
特定地域　3地域　→　1地域
人　員
広域792人　→　広域464人
特定108人　→　特定36人

（内、洋上慰霊の実施等／洋上慰霊参加者400人
0万円　→　1億9,800万円）
（内、民間建立慰霊碑等整理事業
1,100万円　→　2,000万円）

(3)　全国戦没者追悼式挙行経費

本年度予算額　概算要求額
1億3,500万円　→　1億5,400万円
（1県あたり国費参列者55人の2,585人）

４．昭和館事業

本年度予算額　概算要求額
4億6,500万円　→　5億5,600万円

平成27年度政府予算概算要求
終戦70周年記念の洋上慰霊経費も

財務省は八月二十九日、平成二十七年度政府予算に対する各省庁からの概算要求を締め切った。遺族会関係では、最重点項目である特別弔慰金（戦没者等の遺族に対する特別弔慰金）の支給事務に要する経費（支給対象約百二十五万件）が計上されたほか、終戦七十周年記念事業として、戦没者遺児による慰霊友好親善事業で洋上慰霊の経費が要求された。

八月二十九日に各省庁から提出された平成二十七年度概算要求の一般会計総額は過去最大の百一兆七千億円に達し、初めて百兆円を突破した。概算要求が百兆円を超えた理由としては、高齢化が進むことによる医療費・介護などの社会保障費の増大のほか、成長戦略や地方活性化対策に絡んだ施策で各省庁が要求額を積み増ししたことがある。

財務省は年末の予算編成で無駄な予算の削り込みを図り、総額を百兆円に絞り込む考えを示していることから、予算確保を目指す各省庁とのせめぎ合いは例年以上に厳しくなることが予想される。

厚生労働省社会・援護局から提出された概算要求の内、遺族会関係の主のものは最重点項目である特別弔慰金の支給事務費として四億八千四百万円が要求された。また、戦没者遺児による慰霊友好親善事業は三億七千万円が要求され、その内、終戦七十周年記念事業として洋上慰霊経費約一億九千万円が計上された。

その他、戦没者遺骨収集帰還促進並びに慰霊事業、昭和館事業など概ね要望どおり計上された。

また、恩給法関係では、総務省から恩給費として三千七百億一千万円が要求された。

日本遺族会では、特別弔慰金の支給事務費が計上されたことから、継続・増額実現に向けて年末の予算編成終了まで継続した運動を行うこととしており、十二月十六日(火)に全国戦没者遺族大会を開催し、引き続いて国会陳情を計画している。

岡山県においても、全国大会前の十一月十五日(土)に岡山衛生会館ホールで岡山県戦没者遺族代表者大会を開催し、特別弔慰金の継続・増額をはじめとする遺族会要望事項の完全実現を訴えることにしているが、県下の各遺族会においても地元選出国会議員への面会並びにハガキ陳情など、引き続いてご支援をお願いしたい。

概算要求に計上された遺族処遇改善項目は一頁に掲載のとおり。

平成26年度県連盟老人福祉事業
県下ご遺族23名 百歳長寿のお祝い

岡山県遺族連盟では毎年、老人福祉事業として「敬老の日」を中心に、その年に百歳（本年は大正三年生まれ）を迎えられたご遺族の皆様に記念の品を贈り長寿をお祝いしている。

本年は、県下十三遺族会で二十三名のご遺族がめでたく百歳の長寿を達成され、去る九月十六、十七、十九日の三日間、県連盟正副理事長並びに事務局職員が、地元遺族会役職員と共に自宅や入所施設を訪問、記念の品を贈り慶祝の意を表した。

また、身寄りのない戦没者の父母（三名）、一人暮らしの妻（九十九名）の皆様には、各市町村遺族会を通じて慰問の品を贈りお慰めした。

本年めでたく百歳の長寿を達成されたご遺族は次の皆様です。今後とも幾久しくお元気でお暮らし下さいますよう祈念いたします。

＊岡山市中区祇園
安福　鞠緒さん（妻）
大正２年１月11日生

＊岡山市北区津高
河内　清江さん（姉）
大正３年１月８日生

＊新見市井倉
川崎百合恵さん（妻）
大正３年１月８日生

＊小田郡矢掛町東三成
藤岡　キソさん（妻）
大正３年２月２日生

＊総社市井手
吉本寿満子さん（妻）
大正３年３月23日生

＊岡山市南区迫川
森永　千里さん（妻）
大正３年３月15日生

＊岡山市南区曽根
難波　逸恵さん（妻）
大正３年４月４日生

＊津山市東一宮
野口　花子さん（妻）
大正３年４月５日生

＊倉敷市玉島
田辺ヲトリさん（妻）
大正３年５月８日生

＊美作市奥
赤堀　綾子さん（妻）
大正３年６月２日生

＊倉敷市玉島陶
高宮　文子さん（妻）
大正３年７月９日生

＊美作市下香山
安東　哲子さん（妻）
大正３年７月27日生

＊新見市神郷下神代
義国　寿子さん（姉）
大正３年７月28日生

＊岡山市中区賞田
服部　久野さん（妻）
大正３年７月30日生

＊倉敷市玉島陶
臼井ツルノさん（妻）
大正３年８月１日生

＊小田郡矢掛町里山田
山室　瀧恵さん（妹）
大正３年８月５日生

＊岡山市北区建部町建部上
久保田玉起さん（妻）
大正３年８月10日生

＊小田郡矢掛町小田
近藤　静香さん（妻）
大正３年８月26日生

＊津山市野村
松田つる代さん（妻）
大正３年９月１日生

＊倉敷市中庄
宇治郷家子さん（妻）
大正３年10月10日生

＊岡山市中区江崎
妹尾喜美子さん（妻）
大正３年11月23日生

＊高梁市備中町西湯野
川上　余品さん（妻）
大正３年12月１日生

＊岡山市北区建部町市場
市川志津江さん（妻）
大正３年12月20日生

― 平成26年度 ―
「岡山の塔」戦没者追悼式/沖縄戦跡慰霊巡拝のご案内

岡山県遺族連盟では県補助事業により、毎年、沖縄県糸満市摩文仁の丘に建立されている「岡山の塔」前において「沖縄並びに南方諸地域岡山県出身戦没者追悼式」を執り行い、先の大戦で戦没された本県出身戦没者ご英霊の冥福をお祈りすると共に、世界平和希求をお誓い申し上げています。

平成26年度は下記の実施要領とおり、来る11月６日㈭～11月８日㈯の二泊三日で沖縄県内を巡拝し、11月７日には「岡山の塔」に岡山県並びに沖縄県当局関係者のご臨席をいただき平成26年度戦没者追悼式を執り行います。沖縄、南方方面の苛烈な戦いの中で散華されたご英霊をお慰めしたいと存じますので、多くの皆様方のご参加を賜りますようご案内申し上げます。

月　日	巡　拝　日　程	宿　泊
11月６日㈭	岡山駅西口（６：20）又は岡山空港（７：10）集合 ～ 岡山空港発（８：30）JTA 011 那覇空港着（10：45）～ 沖縄県護國神社参拝 ～ 昼食（那覇市）～ 南風原文化センター見学 ～ 沖縄陸軍病院20号壕（南風原町）～ 魂魄の塔参拝（大度海岸）～ 宿舎着（17：00頃）	那覇市 沖縄かりゆしアーバンリゾート・ナハ
11月７日㈮	宿舎発（８：00）～ 摩文仁 ･･･ 沖縄平和祈念堂・平和の礎・平和の広場・摩文仁海岸 ･･･「岡山の塔」沖縄並びに南方地域戦没者追悼式（11時開式）～ 国立沖縄戦没者墓苑（沖縄方面戦没者慰霊祭）～ 昼食（糸満市）～ 高速道経由 ～ 美ら海水族館 ～ 宿舎着（17：00頃）	本部町 チサンリゾート沖縄美ら海
11月８日㈯	宿舎発（８：00）～ 本部港発（８：30）フェリー 伊江島着（９：00）～ 島内巡拝（芳魂之塔参拝・ヌチドゥタカラの家など）～ 昼食 ～ 伊江島発（13：00）フェリー 本部港着（13：30）～ 高速道 ～ 那覇市内 ～ 対馬丸記念館 ～ 那覇空港発（18：25）JTA 016 岡山空港着（20：15）～ 岡山駅（21：00）頃	

◎参加経費　48,000円也（遺族会会員お一人経費）
上記以外の方は10,000円の追加経費でお受けいたします。

◎申 込 先　〒703-8272 岡山市中区奥市3-22「岡山県遺族連盟」（TEL 086-271-7175／FAX 086-271-4815）
住所、氏名（ふりがな）、年令、性別、電話番号、戦没者との続柄、戦没者の氏名、戦没場所、希望集合場所（岡山駅西口又は岡山空港）をお知らせ下さい。

◎申込締切　10月６日㈪（第一次締切／申込状況により延長有）

◎募集人員　60名程度

※上記日程は交通機関等の都合により変更になる場合があります。

遺書

陸軍少佐　森本三郎
昭和十八年九月三日
ニューギニア・ウエワクにて戦死
兵庫県印南郡別所村出身　二十六歳

一、皇民トシテ錦旗ノ下ニ死ス
之臣ノ無上ノ光栄ナリ死シテ
皇居守護ノ鬼ト化シ猶悠久ニ
皇國ト共ニ生クルヲ喜フ

二、死ニ臨ミ悔ケレト未タ御奉公ノ
足ラサリシト垣内ニ逆臣名利ニ
趨ル徒輩ノ絶エサルヤヲ憂フ
老幼男女階級ヲ問ハス眞ニ皇民
タルノ光栄ニ感激シ各々ノ使命
ヲ自覚シ己ノ最大ヲ傾ケ皇ニ奉
シ顧ミテ恥サルヲ望ム

三、遺品ヲ残シ遺族ノ涙ト化スヲ欲
セス皇國ニ生レ彼蒼ニ散華シ
遺骨ノ帰省固ヨリ期セス何処ニ
散ルトモ八紘建設ノ浄土ト化サン

四、両親ノ恩ニ報イルニ心配ノ累積ヲ
以テセシ罪今日ノ壮行ニ免シ許シ給ヘ

三郎
（原文のまま）

【平成二十六年九月靖國神社社頭掲示】

広島市豪雨災害被災者支援募金の実施について

広島市の局地的豪雨による大規模土砂崩れは未曾有の被害をもたらし、懸命の救助・捜査活動にも拘わらず多くの命が失われました。

岡山県遺族連盟では十月五・六日の両日、岡山護國神社で執り行われる秋季戦没者慰霊行事にあわせて被災者支援募金を行いますので、温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年９月吉日

ご遺族様

岡山県戦没者顕彰会会長 小田　圭一

謹啓　初秋の候　ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、恒例の岡山県戦没者秋季慰霊祭を下記により執り行いますので、万障お繰り合わせのうえご参列下さいますようご案内申し上げます。

なお、東山電停より護國神社の間を、無料バスにより送迎を行いますので、多数ご参列下さいます様お願いいたします。

敬具

記

１．日　　時　10月５日㈰10時～11時30分（雨天に拘わらず執行）
※10月６日㈪は護國神社秋季慰霊大祭が10時から執り行われます。

２．祭　　場　岡山市中区奥市３－21　岡山県護國神社

３．奉納行事

10月５日	10月６日
備中神楽（午前９時から／舞楽殿）	備中神楽（午前９時から／舞楽殿）
吉備舞　華道展	詩　吟　吉備舞
詩吟舞	華道展　銃剣道

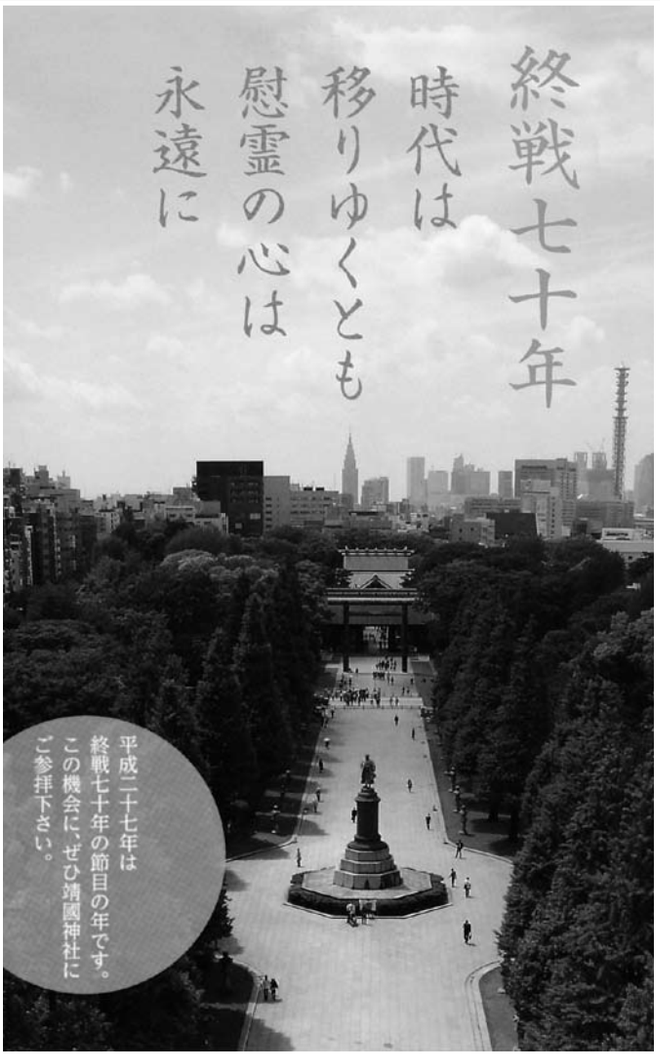
１．神社前広場は大変混雑しますので、ご参拝の際は市内電車・バス等、公共交通機関をご利用下さい。

２．公共交通機関を利用してご参拝の方は、下記により無料送迎バスを運行していますのでご利用下さい。
＊運行区間　東山電停 ～ 表参道鳥居前 ～ 護國神社間
＊運行時間　午前９時 ～ 12時（約10分間隔）

３．ご参列の方には１人に１個、記念品を差し上げます。

４．ご希望の方には後楽園（５、６日有効）並びに博物館入場券（５日のみ有効）を差し上げます。

５．参列に際しましては、祭儀終了時まで会場にご臨席いただきます様お願いいたします。



やすくにの心を後世に

靖國神社宮司　徳川　康久

平成二十七年は、昭和二十年八月十五日の玉音放送で「大東亜戦争終結の詔書」が下されてから七十年の節目の年にあたります。

靖國神社には二百四十六万六千余柱の御祭神が祀られていますが、大東亜戦争で戦没された英霊は二百十三万四千柱に及び、全祭神に占める割合の高さからも、先の大戦が我が国にとってどれほど過酷なものであったかをうかがい知ることができます。

戦後、我が国は荒廃した国土を再興して世界有数の経済大国へと発展し、靖國神社もまた、御祭神と日々を共に過ごされた御遺族や戦友の皆様方の大きな支えをいただきながら、大御心のまにまに英霊祭祀を厳修して参りました。そして、来る平成三十一年には神社御創立百五十年を迎えようとしています。

しかしながら、終戦時にお生まれになった方が齢七十となる今日、過ぐる大戦の記憶が国民意識から遠ざかりつつあるなかで、国事に殉じられた人々を祀り、国民斉しく感謝の誠を捧げる日本の美風だけは後世に伝えていかなければならないと存じます。

どうか皆様には、終戦七十年にあたり、ぜひとも靖國神社にお参りいただき、国家存亡の危機に敢然と立ち向われた英霊のみこころに触れながら、我が国のさらなる発展と平安を祈念いただければ幸いです。

遺族会の動き

平成二十六年九月行事表

5日　県戦没者秋季慰霊祭準備委員会（いさお会館）
11日　赤磐市遺族連合会靖國神社団参（東京方面）一泊
13日　浅口市郡遺族連合会役員研修旅行（高知県方面）一泊
15日　瀬戸内市遺族連合会女性部長会議（邑久町中央公民館）
16日　県連盟老人福祉事業／一人暮らしの父母・妻慰問（県下）
17日　県連盟老人福祉事業／百歳遺族お祝（県下）17、19日
19日　倉敷市玉島遺族連合会研修旅行（三重県方面）一泊
20日　高梁市成羽地区遺族会護國神社正式参拝（県護國神社）
24日　高梁市吹屋地区戦没者慰霊祭（県護國神社）
25日　岡山市津高遺族会岡山陸軍基地清掃（岡山市北区津高）
26日　岡山市津高・岡山陸軍墓地秋季彼岸祭（岡山陸軍墓地）
27日　玉野市戦没者追悼式（玉野市総合体育館）
28日　英霊にこたえる会中国・四国ブロック会議（鳥取県）一泊

平成二十六年十月行事表

2日　新見市神郷地区戦没者慰霊祭（県護國神社）
3日　津山市戦没者追悼式（津山総合体育館）
5日　岡山県戦没者秋季慰霊祭（県護國神社）
高梁市高梁地区遺族会護國神社参拝（県護國神社）
6日　県連盟財政問題特別委員会（県連盟会議室）
8日　岡山県護國神社秋季例大祭（県護國神社）
高梁市川上町遺族会靖國神社団参（東京方面）二泊
10日　真庭市北房地区戦没者慰霊祭（県護國神社）
倉敷市戦没者追悼式（倉敷市民会館）
16日　高梁市哲西地区戦没者慰霊祭（県護國神社）
20日　新見市戦没者追悼式（県護國神社）
21日　赤磐市戦没者遺族大会（赤磐市立中央公民館）
22日　笠岡市陶山地区戦没者慰霊祭（県護國神社）
23日　英田郡西粟倉村戦没者慰霊祭（県護國神社）
24日　真庭市勝山支部戦没者慰霊祭（県護國神社）
27日　笠岡市城見地区戦没者慰霊祭（県護國神社）
美作市大原支部遺族会護國神社正式参拝（県護國神社）
新見市新見地区戦没者慰霊祭（県護國神社）
中国・四国ブロック遺族会会議（島根県）一泊
新見市草間地区戦没者慰霊祭（県護國神社）
加賀郡吉備中央町下竹地区戦没者慰霊祭（県護國神社）
28日　久米郡美咲町戦没者慰霊祭（県護國神社）

平成二十六年十一月行事表

6日　沖縄戦跡慰霊巡拝／「岡山の塔」戦没者追悼式（沖縄県）二泊
10日　各都道府県遺族会事務局長・職員研修会（秋田県）一泊
15日　瀬戸内市戦没者追悼式（瀬戸内市保健福祉C）
20日　岡山県戦没者遺族代表者大会（岡山衛生会館）
浅口市金光町遺族会護國神社正式参拝（県護國神社）